

市町村管理構想を作ろう



国土交通省では、人口減少下における地域課題の解決に向けて、目指すべき将来像を見据えて、優先的に維持したい土地を明確化し、管理方法の転換等を図る「管理構想」の策定に向けた取組を進めています。今年度は東北地方近県の自治体を主な対象に、市町村管理構想を策定する上で必要な知識やノウハウ等を習得していただく研修会を開催します。

日時

令和7年10月30日(木) 10:30~17:00(予定)

※会場・受付開始 10:00~ 当日は昼休憩(約60分)を挟みます。
※参加無料(交通費・昼食等は自己負担)

場所

仙台合同庁舎B棟2階 共用第二会議室

住所:〒980-0014 仙台市青葉区本町3丁目3番1号
※会場に駐車場はございません。公共交通機関でご来場ください。

定員
30名
程度

対象者

東北地方近県の自治体の皆様

※東北地方以外の都道府県の自治体の方も参加可能です。
※申込多数の場合、人数調整をさせていただきます。ご了承下さい。

申込

事前申込制

※締め切りまでに以下のフォームからお申し込みください。

申込締切
10月15日(水)17時

<https://forms.office.com/r/Qb2KZ02C9W>



参考:「国土の管理構想」ポータルサイト

https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000130.html

第1部

オリエンテーション：講義（約1時間：午前）

- ・ 管理構想の立案に携わられた有識者や国土交通省の担当者から、市町村管理構想の策定の意義や策定に当たっての市町村の役割について講演します。
- ・ 市町村管理構想の策定を行っている関係者の話を通じて、策定に向けた具体のイメージをご紹介します。

講義内容(予定)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 国土管理における市町村の役割 | 長岡技術科学大学名誉教授 中出文平 |
| 2. 市町村管理構想の検討を始めよう | 国土交通省国土政策局総合計画課 |
| 3. 市町村管理構想の策定事例 | 新潟県長岡市 |

第2部

市町村管理構想の模擬体験（約4時間：午後）

- ・ 第1部で紹介した新潟県長岡市を題材に、市町村管理構想の策定の流れを体験します。
- ・ 少人数のグループに分かれ、事務局が用意した図や表に意見を書きだす作業をしながら、グループの考えを整理していきます。

プログラム内容(予定)

1. フロー図を考えよう

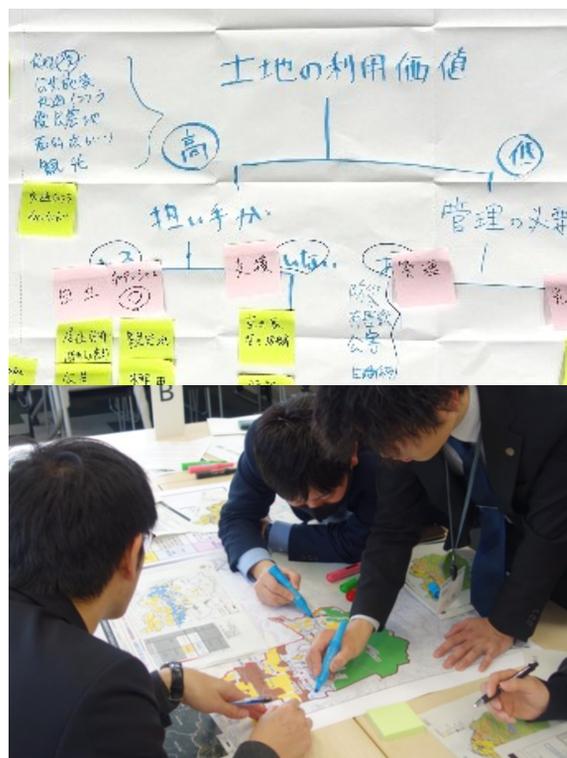
- ・ 持続的な土地の管理の視点で行政区域を区分するためのフロー図を作成します。
- ・ want, can, shouldの視点から、ゾーニングのための条件を整理していきます。

2. ゾーニングしよう

- ・ ①で検討したフロー図を参考に、市域をゾーニング(図化)します。

3. 管理のあり方を考えよう

- ・ ②で検討した各ゾーンについて、管理レベルを整理します。



【受講に当たってのお願い】

- ・ 参加希望者は、【入門編（知ろう）】と併せての受講を推奨します。
- ・ 【入門編（知ろう）】の申込みはプログラムが決まり次第、以下のサイトに掲載します
- ・ URL : https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000141.html

